

# 受注生産と価値創造の両輪を目指し組織力を強化

会社名 株式会社北四国グラフィア印刷  
 所在地 香川県観音寺市粟井町755番地  
 従業員 128名  
 資本金 3億1,000万円  
 売上高 46.5億円  
 業種 食品、衛生用品、化粧品、医薬部外品などのパッケージの企画・製造・販売



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 研究開発チームの開発・知財戦略、開発ロードマップの策定。協業先との共同開発の知的財産権に係る契約事項の整理。結果、付加価値の高い製品製造を行い、事業成長を継続(売上増、営業利益率を高めたい)できる会社を目指す。
- 高いモチベーションを有する社内人財による開発や知財管理を一段階高いステージへ進めたい(体制強化を図りつつ)。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- 全社的な知財意識や活用に向けた動機付けにつながり、新たな技術やサービスの発明創出につなげることができた(全社員による‘あいであシート’活用等)。また、他社との協働に向けた社内基盤の確立も着実に準備が進められ、社員の行動変容が明確に確認できる段階に至っている。

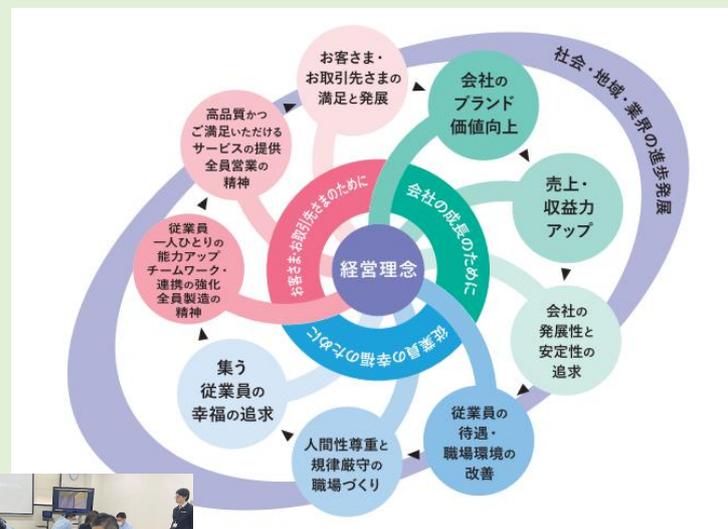
## 今後の事業展開の展望

Future

- 社内の知財活動(発明発掘含む)を浸透・定着段階へステップアップさせていく。
- INPIT IPランドスケープ支援事業の結果も活用しつつ、新規環境包材に対する技術課題とプレーヤーを認識して、開発戦略及び知財戦略を展開させていく。
- 社内の法務基盤の適切な運用を行い他社との協働を促進させる。

## 加速的支援を受けた事業や商材

これまでの受注生産体制から、独自の自社一貫製造体制を構築し、顧客や社会全体から求められることを他社よりも先に実現させることを目指している。環境に優しい商品開発による自社独自の提案型として社会に貢献できる企業を目指し、その理念を共有できるパートナーとの共同開発等の協業を将来の価値創造として考えている。今後はマーケットインに対応した商品に加えて、より先を見据えた提案型の開発商品への挑戦を目指している。



【出典】株式会社北四国グラフィア印刷ホームページ  
<https://www.kitashikoku-g.co.jp/>



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
知財意識改革と知財スキルの習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 知財の活用等についての考え方が会社全体はおろか開発者にも定着できておらず、まずは経営および営業を含めた技術関係者の意識改革が必要。</li> <li>■ これまで未対応の知財クリアランスやアイデアの提案活動を習得する必要がある。</li> </ul>
ノウハウ・発明の掘り起こしを含めた自社技術力の見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ これまでの受託開発や社内での改善の中で生まれた当社の所有するノウハウや発明の掘り起こしにつながる情報を整理管理ができていない。これらの見える化は、今後、自社開発(共同開発含む)の独自性を打ち出す商品開発戦略作成の際必要。</li> </ul>
環境適応の新規印刷分野の技術開発の促進と知財戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 中期経営計画において力を入れる予定の ICT分野・デジタル印刷技術の強化、環境包材等の新製品に取り組む開発体制や知的財産管理体制構築が必要。</li> </ul>
契約関連の知識習得と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 受託開発だけでなく、今後は共同開発が今後は増大すると見込まれ、共同開発契約、受託開発契約を行う上での知識を習得する必要がある。</li> </ul>
社内体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現在、知財に関する規定や仕組みが構築されていない。今後他社との提携や社員のモチベーションアップのために規定の整備や仕組みが必要。</li> </ul>

## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
知財意識改革と知財スキルの習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営及び営業、開発、製造、品保の開発に関わるメンバーが著作権を含む知財に関する知識を習得。</li> <li>・ 社内早朝勉強会にて、知財をテーマに取り上げ、知財マインドの醸成を推進できるようになった。</li> <li>・ 知的財産管理技能士資格の取得する社員も出てきた。</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士 企業OB(著作権専門家)
ノウハウ・発明の掘り起こしを含めた自社技術力の見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの受託開発や社内での改善の中で生まれたノウハウを整理して見える化することができた。また、共同開発を行う中で発明の掘り起こしについても追究する考え方を理解した(事例:蒸らしてデリシヤス)</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士 知財戦略AD
環境適応の新規印刷分野の技術開発の促進と知財戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期経営計画にうたわれているデジタル印刷、紙への印刷、環境包材、ICT分野等について業界動向及び特許情報を調査の上、各環境包材について今後の開発の方向及び考え方を定めることができた。</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士
契約関連の知識習得と実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後他社との連携にあたり、秘密保持契約、受託開発契約、共同開発契約の重要性を認識し取引先との交渉につなげた(将来的に社会的信用の向上につながる)</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士
社内体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職務発明規程によって社員のやる気を喚起し不用意にノウハウが流出しない社内の仕組みを作ることができた。営業との連携による体制強化等の社内体制の見直しも継続検討していく。</li> </ul>	弁理士 中小企業診断士 知財戦略AD 企業OB(規程類)

## 支援チーム紹介

主担当専門家: 中小企業診断士 中澤俊彦

活用専門家: 弁理士(技術士)、企業OB(職務発明規程)、企業OB(著作権専門家)、知財戦略AD

知財総合支援窓口担当者: 香川県知財総合支援窓口 辰野勇

PO(プログラムオフィサー): 松村教司